

網走ほんりゅう組

第402号
網走教職員組合
〒090-0836
北海道北見市東三輪83-35
TEL0157(31)7551
FAX 0157(31)7559
9月17日

オホーツク合研
日時 十月十九日(土)
九時三〇分～
場所 端野公民館

教育全国署名 高教組との共同、一層充実させ

九月七日(土)の網走教組「教育署名スタート集会」を皮切りに、今年度の教育全国署名活動が本格的に始まりました。

北見支部は八月二二日に、遠軽・紋別支部は九月七日に、それぞれ、高教組北見支部・高教組遠軽・紋別支部(新婦人も参加)と、合同のスタート集会を行っています。これは、今年度、道教組から「高教組との共同の取り組みを追求してほしい。」との提起があり、網走教組で連携に向けた協議を行ってきた中から実現したものです。また、網走支部でも、九月二八日に行われる「まなびバ」に、高教組網走支部の先生方にも参加を呼びかけ、高教組との共同の取り組みを具体化する動きがいろいろ生まれてきています。



署名活動では、北見支部が、合同のスタート集会以降、毎週遠軽・紋別支部も、九月中は、毎週土曜日(日曜日に街頭署名活動を実施する予定です。二人集まれば実施しようということが出られるときに参加しようという形で、こ



とつこに署名集めよう。その中で、学級に、特別なニーズのある子どもたち、経済的に困窮している子どもたち、特別なニーズの必要な子どもたちの数は、確実に増えてきています。そのような子ども達の成長・発達や、ゆきとどいた教育の場を保障していくことは、緊急な課題といえます。少人数学級の実現、教育予算の増額、通級学級の増設や支援員の配置など、教育をより豊かなものにしていくために、この教育全国署名の取り組みを一層強めていく必要があります。

道教組中央委員会～子どもたちに必要な学力～

道教組の第26回中央委員会が9月14日(土)に行われました。中央委員会議案をもとに四つの討議の柱が立てられて、各単組・連絡会からの発言があり、質疑・討論は進められました。

一つ目の柱は、「協力・共同の学校づくり、授業づくり、教育課程づくり、職場づくり」。点数主義にのって、習熟度別に少人数指導をやれと言ってくる。少人数では逆に練り合いが深まらない弊害がある(後志連絡会)。夏の合宿研で話された網走教組の考える学力とそれを広めていくことの大切さ(網走教組)。学力条例が制定され、学力テストが行われる中、教育局や委員会は「学習規律(学習する際の細かなルール)」の取組を進めてきている。机の上には〇〇を置く。ノートには日付を付ける(全釧路)。

道徳の教科化が進められようとする中、評価は記述式になると言われている。一つの答えしか導き出せないような研究授業も行われている(全上川)。道徳で扱う「わがまま」とは?憲法と関連させて。個人が安心して要求を出せる社会が必要。もの言わぬ国民、それを育てる教師が作られようとしている(日高連絡会)。

二つ目の柱は、「少人数学級・教員定数改善、教育条件整備、生活と権利、賃金を守るとりくみ」。校長会や教育委員会からも不評の根室の人事要領について、組合員数以上のアンケートが戻ってきた。根室から別海へ通う女の先生は異動直後に妊娠していることが分かったが、結局流産してしまった(根室教組)。

三つ目の柱は、「組織強化・拡大、憲法と民主主義、平和を守り、いかし、原発ゼロをめざすとりくみ」。「よりよい学校作りをしよう」という先生方のふだんの様子を見て組合に入ろうと思った(宗谷教組)。忙しいが、青年のエネルギーを広げたい(宗谷教組)。署名、宣伝活動などの高教組と共同した全身の取り組み(空知教組)。矢臼別演習所の155mm榴弾砲の誤射事件で平和盆踊りは熱くなったこと(全釧路)。原水爆禁止世界大会への参加し、平和のありがたさを感じ、戦争や核兵器の恐ろしさを伝えていかなければと思った(檜山教組)。

四つ目の柱は、「専門部の取り組み」。各専門部から状況等がはなされました。



★日時 2013年9月28日(土) 10:00~15:00
★場所 網走エコセンター(網走市北2条西3丁目3番地)
★内容 午前～授業づくり実践 午後～学級づくり実践
※終了後、お茶会を予定しています!

中央委員会

★日時 2013年10月5日(土) 13:00~17:00
★場所 オホーツク木のプラザ研修室3 (北見市泉町1丁目)
※基本的に全組合員の参加が必要です。参加できない場合は委任状を提出してください。
※中央委員会終了後、北見市内で交流会を予定しています。たくさんの方の参加をお待ちしております。